

しょうをつんでだいとなす

積小為大



豊川市立東部小学校
校長室だより

令和2年12月号

人権週間 にこにこ集会・人権講話

12月4日から10日は人権週間でした。

8日の「にこにこ集会」は、人権に関する校長講話を行いました。今回も全校テレビ放送での集会です。

初めに、人権と人権週間について簡単に説明しました。

人権とは、一人一人が生まれた時から持っている「自分らしく生きる権利」のことです。もう少しわかりやすく言うと「世界中のみんなが、生まれた時から差別されたりせずに、その人らしく幸せに生きていんだよ。」ということです。人権週間は「自分も、お友達も、世界中のすべての人は一人一人が違って、それぞれの良さをもって、みんなの良さを大切にしよう！」って考える週間です。

その後、二つのお話をしました。



みんなちがって みんないい

一つ目は、上の絵を使って、いろいろな個性を持つ子どもたちが、「僕の肌は黒いよ」「僕だけ小さい」「僕は太ってる」「この中で私だけ女だわ」「僕は東北から引っ越して来たよ」「僕はメガネでハーフ」「僕だけ半ズボン、あ、血液型も違うのか」と、それぞれ違いを知り『みんなちがって みんないい』に気づく話をしました。

二つ目は、小学生の作文を紹介しました。運動の苦手な作者が、跳び箱に挑戦して、何度やっても跳べない姿を見て笑う周りの子たちに対して、男の子が「笑うな！」と大きな声で言い、その後、みんなが応援して、跳ぶことができ嬉しかったという話です。



ビデオカメラを前にしての話なので、聞いてくれている児童の表情や様子は見えませんが、全校の児童が「人権」について少しでも考えてくれるきっかけになればと思っています。

世界では、今、現在でも、学びたくても学べない子、人種や様々な社会的環境によって迫害や差別を受けている人々がたくさんいます。残念ながら、日本でも、身近なところでも解決されていない人権問題は多数あります。ご家庭でも、機会をとらえて、子ども達の発達に応じた内容で、話題にしていただけるとうれしいです。

2020年が終わります

間もなく二学期が、そして2020年が終わりになります。回覧板でお届けする地域の皆さまには、暮れの迫った時期か新年になるかと思えます。

いつもの年とは違った一年でした。これから迎える冬休みや新年も、例年とは少し違った過ごし方になるかもしれません。家族で心安らかに、笑顔で一年を振り返り、新しい年を迎えられると良いなと願います。

児童のみなさんは休み中も健康管理をしっかりお願いします。ご家族の皆さま、地域の皆さまもくれぐれもご自愛ください。良いお年を。

文責（校長 金澤哲哉）